

第2回アンケート
生涯学習について

1 調査の概要

この報告書は、平成9年度第2回区政モニターアンケート「生涯学習について」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

足立区の生涯学習について、区民の意識と現状を探り、今後の施策に反映させることを目的として、調査を行いました。

3 調査方法

調査票・回答とも郵送

4 実施時期

平成9年8月

5 送付数

50人

6 回答数

50人

回答者の性別・年代別・職業別の構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0	1	0	2	8	1	12
女	2	10	11	8	5	2	38
計	2	11	11	10	13	3	50

職業別	自営業 事業主	管理職 自由業	事務職 技術職	労務職 サービス業	パート タイマー	学生	主婦	無職	合計
人数	7	2	2	1	3	2	23	10	50

7 調査結果・分析の見方

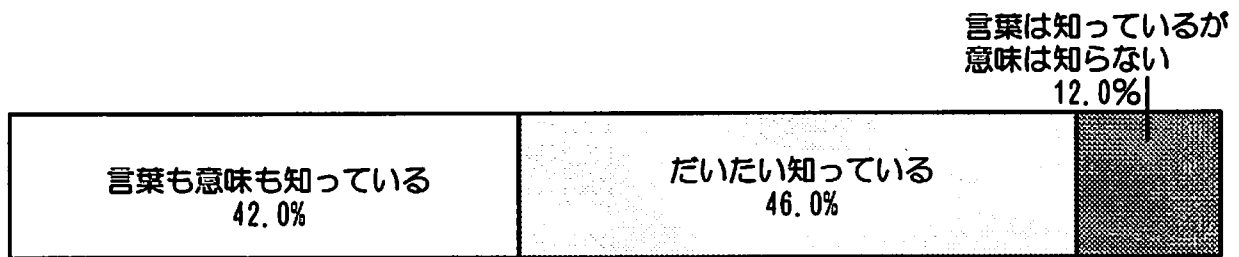
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が100%に満たない、または、上回ることが場合があります。(Nは回答者数、未記入の場合は50人)

意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

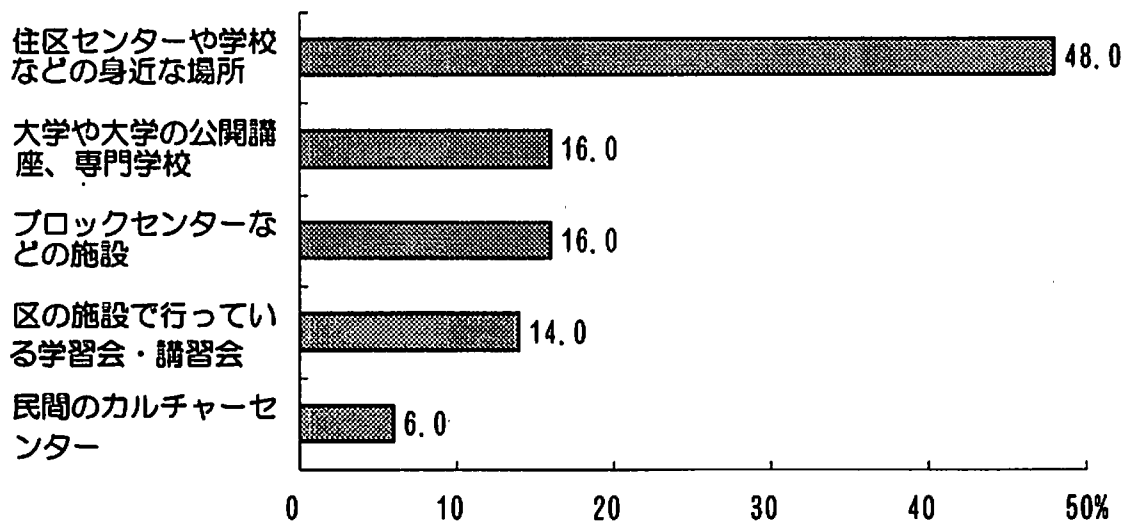
要旨

1 「生涯学習」「生涯教育」という言葉の周知度	
「言葉も意味もだいたい知っている」	46.0%
「言葉も意味も知っている」	42.0%
2 学習したい場所	
「住区センターや学校などの身近な場所」	48.0%
「高度な学習のできるブロックセンターなどの施設」	16.0%
「高度な学習のできる大学や大学の公開講座、専門学校」	16.0%
3 学習する際の希望情報	
「講座や研修会などの学習機会情報」	64.0%
「地域で自主的に活動しているグループや団体の情報」	22.0%
5 足立区の生涯学習の方向性	
「まだまだ行政が積極的に区民の学習活動をリードすべき」	48.0%
「高齢者や障害者が学習できる仕組みを作るべき」	40.0%
6 今後の学習活動に関する費用負担	
「現在の制度を継続すべき」	54.0%
「個人の趣味・教養・娯楽に関する活動については有料にすべき」	36.0%
7 生涯学習館に併設されている放送大学東京第3学習センターの認知度	
「あることは知っているが内容までは知らない」	38.0%
「あることもその内容も知っている」	34.0%
8 放送大学での学習希望	
「時間的に余裕があればしてみたい」	64.0%
「ぜひ学習してみたい」	20.0%

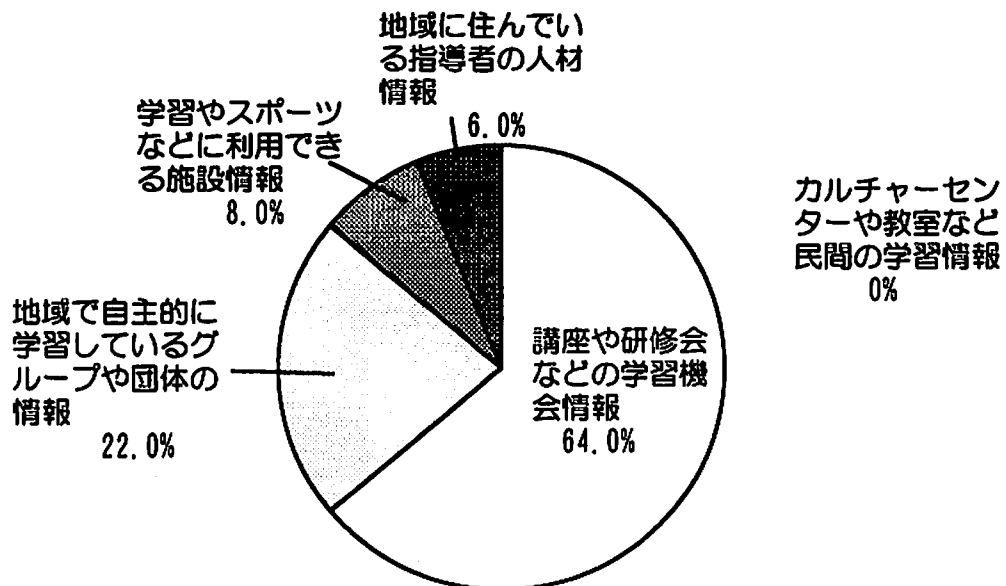
問1 あなたは、「生涯教育」あるいは「生涯学習」という言葉を知っていますか。



問2 あなたがこれから学習を始めるとしたら（さらに学習を続けるとしたら）どんな場所で学習したいと思いますか。



問3 学習や地域での活動を始めようと思ったり、もっと違う活動をしたと思った時に、どんな情報があればいいと思いますか。



問4 その情報はどんな方法で収集したいですか。次の中から2つ以内でお答え下さい。

講座や研修会などの学習機会情報（32人）

- ・現状の広報紙・公社報により …25人
- ・区役所窓口で入手できるパンフレットにより …13人
- ・生涯学習ダイヤルのような電話により …7人

地域で自主的に学習しているグループや団体の情報（11人）

- ・現状の広報紙・公社報により …8人
- ・区役所窓口で入手できるパンフレットにより …7人
- ・公社施設で自由に操作できる端末機により …2人

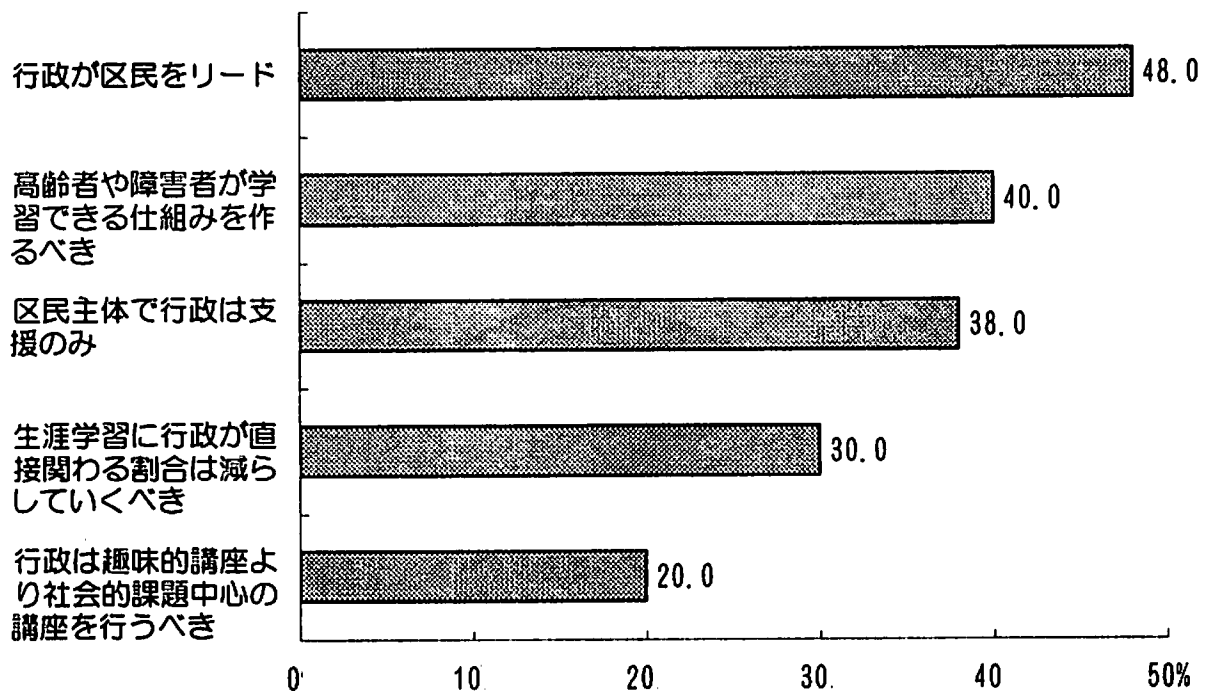
学習やスポーツなどに利用できる情報施設（4人）

- ・現状の広報紙・公社報により …4人
- ・区役所窓口で入手できるパンフレットにより …3人
- ・ブロックセンター発行のような地域密着型情報誌により …1人

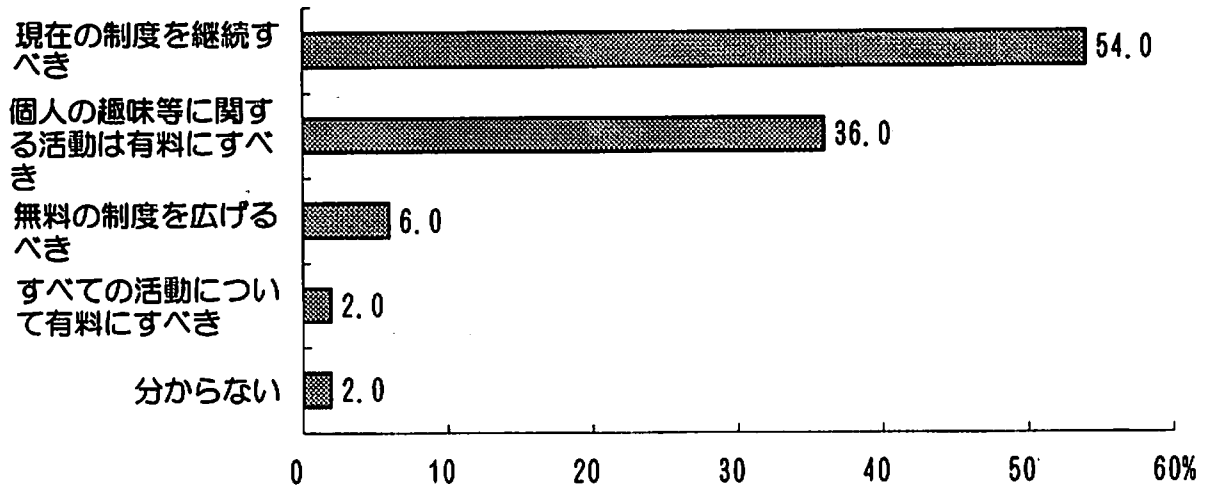
地域に住んでいて、学習やスポーツ活動を指導してくれる人材情報（3人）

- ・ブロックセンター発行のような地域密着型情報誌により …2人
- ・生涯学習ダイヤルのような電話により …1人
- ・インターネット・パソコン通信により …1人

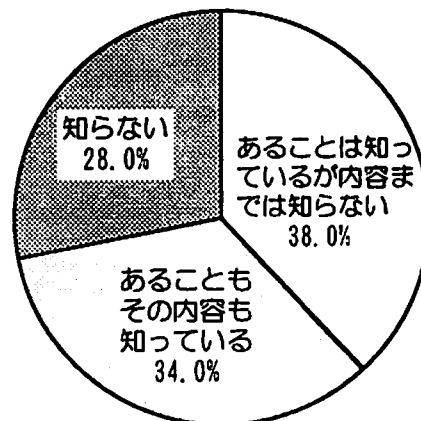
問5 足立区の生涯学習施策が本格的にスタートして10年以上が過ぎ、今大きな転換点に来ているといえます。今後の足立区の生涯学習の方向性としてどんなものが良いと思われますか。いくつでも選んでください。



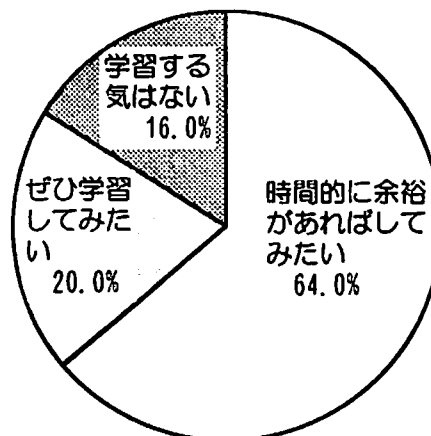
問6 現在、足立区では、区民の学習活動支援のために施設使用料を免除したり、講座受講料を無料もしくは低く設定したりしています。このことにより区民の学習活動は進み、自主的に学ぶグループや団体も増加しました。今後、学習に関する費用負担はどうあるべきとお考えですか。



問7 現在、足立区生涯学習館（足立区綾瀬）には放送大学東京第3学習センターが併設されていますが、ご存知ですか。



問8 放送大学は、テレビ放送や面接授業などを組み合わせた正規の大学です。全科目履修したり、好きな科目だけを履修したりできる新しいタイプの大学です。このような大学で学習をしてみたいと思いませんか。



問9 足立区の生涯学習施策についてご意見がありましたらお聞かせください(自由回答)。

- ・継続的ということにとらわれず、随時公開学習の形で講習会等の企画も有意義だと思う。
(60代 男性)
- ・地域の仲良しグループ以外は受け入れられないような講習会もある。公共の学習の場という意識を一人ひとりが持ち、いつでも誰でも学べる場であってほしい。
(30代 女性)
- ・どの施設でも、多くのグループが有意義な活動をしているので、趣味・教養・娯楽等の講座については従来どおりの方法で運営してほしい。また、地域的・社会的課題について意見交換ができるような場を設定してほしい。
(40代 女性)
- ・行政は場所の提供・活動の手助けをしてほしい。運営はグループが自主的に行う。自己負担でこそ意欲の向上・維持に結びつくと思う。全部ただでは「ひやかし」が多く長続きしない。
(60代 女性)
- ・地域で自主的に学習しているグループがあり、自分が学習したいテーマと一致している場合には、一人で学習するより取り組みやすく学習意識もわくので、情報提供をしてほしい。
(30代 女性)
- ・施設の準備も進み、学習機会の提供も活発化しており、区の生涯学習施策は大いに評価できる。これからは高齢化対応ということで、個人の生きがい・充実感の向上につながるのも大切。趣味・教養・娯楽などの分野は、ますます拡大してほしい。
(50代 男性)
- ・区の生涯学習への取り組みには、感心しているが、大事なのは受講者が自己を高めようとする態度である。このためには、受講する意義のPRに努めたらどうか。
(70代 男性)
- ・学習をしたくても家族があると、なかなか実行できない。学習する間、子どもや高齢者を見ていてくれる人が居ればと思います。
(50代 女性)
- ・生涯にわたって学習や教育のチャンスが与えられることは重要であり、心豊かな区民の育成上からも必要不可欠である。そのためには「安く」「近場で」「短期間に」と考えるので、①パソコンやワープロの初級の講座を増やしてほしい。②施設使用や受講料は受講者に負担のかからない金額設定をしてほしい。③区立小・中学校の空き教室を使って講座を開いてほしい。④資格取得講座の開催をしてほしい。
(40代 女性)
- ・学校では嫌いな勉強もしなければならなかったが、これからは好きな課目を深く勉強したい。このためには、学校を開放し教員による指導を実施してほしい。
(60代 女性)

平成9年度 第2回区政モニターアンケート

《生涯学習について》

氏名 _____

今回の調査は、生涯学習における施策や動向についてお聞きし、今後の方向性を定める参考といたします。

※設問には、特にことわりがない限り1つを選んでください。

生涯学習施策について

- 問1 あなたは、「生涯学習」あるいは「生涯教育」という言葉を知っていますか。
- (1) 言葉の意味まで知っている
 - (2) 言葉の意味もだいたい知っている
 - (3) 言葉は知っているが、意味は知らない
 - (4) 知らない
- 問2 あなたがこれから学習を始めるとしたら（さらに学習を続けるとしたら）どんな場所で学習したいと思いますか。
- (1) 趣味教養を中心に住区センターや学校などの身近な場所
 - (2) 少し遠くとも、高度な学習が出来るブロックセンターなどの施設
 - (3) 高齢社会の介護・健康問題などの生活課題や防災など地域の問題について区の施設で行っている学習会・講習会
 - (4) 民間のカルチャーセンター
 - (5) 高度な学習の出来る大学や大学の公開講座、専門学校
- 問3 学習や地域での活動を始めようと思ったり、もっと違う活動をしたいと思った時に、どんな情報があればいいと思いますか。
- (1) 講座や研修会などの学習機会情報
 - (2) 地域で自主的に活動しているグループや団体の情報

- (3) 学習やスポーツなどに利用できる施設情報
- (4) 地域に住んでいて学習やスポーツ活動を指導してくれる人材情報
- (5) カルチャーセンターや教室などの民間の学習情報

問4 その情報はどんな方法で収集したいですか。次の中から2つ以内でお答え下さい。

- (1) 生涯学習情報ダイヤルのような電話での情報収集
- (2) 公共施設などに設置され、自由に操作できる端末機による情報収集
- (3) インターネット・パソコン通信を利用した、個人での自由な情報収集
- (4) 区役所窓口ならどこでも入手できるパンフレット等の学習情報による収集
- (5) ブロックセンター発行の「センターだより」のような地域密着型広報誌による情報収集
- (6) 教育委員会が作成した学習情報誌による収集
- (7) 現状の「あだち広報」や公社報「ときめき」による収集

問5 足立区の生涯学習施策（※）が本格的にスタートして10年以上が過ぎ、今大きな転換点に来ているといえます。今後の足立区の生涯学習の方向性としてどんなものが良いと思われますか。いくつでも選んでください。

- (1) あくまでも学習者（区民）が主体で行政は支援という立場を守るべきだ
- (2) まだまだ行政が積極的に区民の学習活動をリードしていくべきだ
- (3) 行政は、趣味・教養・娯楽のような講座より、地域の課題や社会的課題などを中心とした講座を行うべきだ
- (4) 高齢者や障害を持つ人たちが自宅で学習できたり、ボランティアの支援のもとで学習できるような仕組みを創っていくべきだ。
- (5) 区民が自分で責任を持って選択し学習すればよく、行政は施設の建設・整備などの学習の場の提供や情報の提供などを行うにとどめ、生涯学習に行政が直接かかわる割合は減らしていくべきだ。

※ 足立区では平成2年に「生涯学習推進計画」を策定し、ブロックセンターや住区センターの建設を中心とした施設建設と整備、様々な講座・研修会といった学習機会の提供、グループ団体活動の支援、学習活動のリーダーや指導者の養成、学習情報の提供など生涯学習施策を展開してきました。

その結果、ブロックセンターが12館、住区センターが45館整備され、年間の

学習機会提供も約2000講座近くに達し、自主的学習グループもブロックセンターや学校開放に登録した団体が2,000団体近くになるなど、いわば「量的」に大きく拡大してきました。

今後は、単に教育委員会関連の施策だけではなく、福祉や衛生分野での学習機会など様々な教育資源をむすびつけ、多様に効率的に学び続けられるようなネットワークを形成すること。そして、身近な地域で地域の問題について学べる仕組みを作ること。という、いわば学習の「質的」拡大をめざす方向を探っています。

問6 現在、足立区では、区民の学習活動支援のために、施設使用料を免除したり、講座受講料は無料もしくは低く設定したりしています。このことにより、区民の学習活動は進み自主的に学ぶグループや団体も増加しました。今後、学習に関する費用負担はどうあるべきとお考えですか。

- (1) 区民の学習活動支援のためにも、現在の制度を継続するべきだ
- (2) 子ども会やボランティア活動などを除き、個人の趣味・教養・娯楽に関する活動については有料にするべきだ
- (3) すべての活動について有料にするべきだ
- (4) 無料の制度をもっと広げるべきだ
- (5) わからない

放送大学について

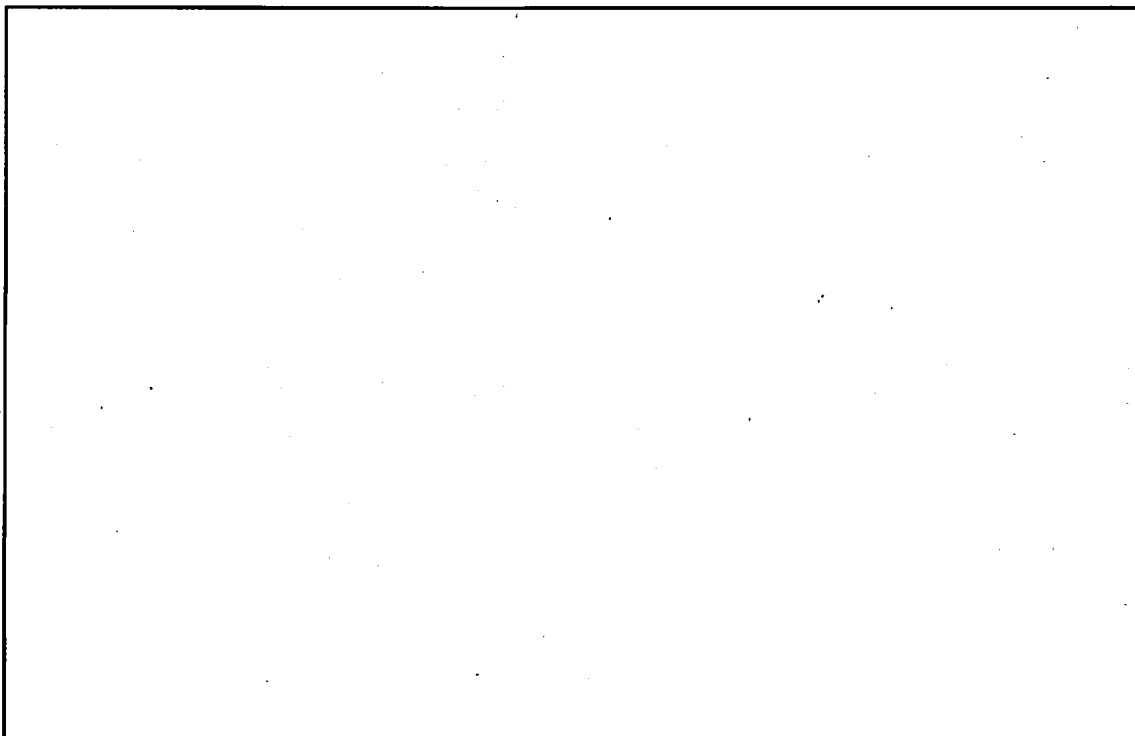
問7 現在、足立区生涯学習館（足立区綾瀬）には、放送大学東京第3学習センターが併設されていますが、ご存じですか。

- (1) あることもその内容も知っている
- (2) あることは知っているが内容までは知らない
- (3) 知らない

問8 放送大学は、テレビ放送や面接授業などを組み合わせた正規の大学です。全科目履修したり、好きな科目だけを履修したりできる新しいタイプの大学です。このような大学で学習をしてみたいと思いませんか。

- (1) ぜひ学習してみたい
- (2) 時間的に余裕があればしてみたい
- (3) 学習する気はない

問9 足立区の生涯学習施策についてご意見がありましたらお聞かせ下さい (自由回答)



ありがとうございました

集 計 表

(%)

生涯学習	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	50	12	38	13	37
問1 「生涯学習」「生涯教育」という言葉を知っているか。 N=50					
1 言葉も意味も知っている	42.0	75.0	31.6	30.8	45.9
2 言葉も意味もだいたい知っている	46.0	25.0	52.6	46.2	45.9
3 言葉は知っているが、意味は知らない	12.0	0	15.8	23.1	8.1
4 知らない	0	0	0	0	0
問2 これから学習を始めるとしたら(さらに続けるとしたら)どんな場所でしたいか。 N=50					
1 住区センターや学校などの身近な場所	48.0	50.0	47.4	46.2	48.6
2 ブロックセンターなどの施設	16.0	16.7	15.8	7.7	18.9
3 区の施設で行っている学習会・講習会	14.0	8.3	15.8	7.7	16.2
4 民間のカルチャーセンター	6.0	0	7.9	15.4	2.7
5 大学や大学の公開講座、専門学校	16.0	25.0	13.2	23.1	13.5
問3 学習や地域での活動を始める時に、どんな情報があればよいと思うか。 N=50					
1 講座や研修会などの学習機会情報	64.0	66.7	63.2	53.8	67.6
2 地域で自主的に活動しているグループなどの情報	22.0	25.0	21.1	15.4	24.3
3 学習やスポーツなどに利用できる施設情報	8.0	8.3	7.9	15.4	5.4
4 地域に住んでいる指導者の人材情報	6.0	0	7.9	15.4	2.7
5 カルチャーセンターなどの民間の学習情報	0	0	0	0	0
問4 その情報はどんな方法で収集したいか。(2つ以内) N=50					
1 生涯情報ダイヤルのような電話	18.0	25.0	15.8	7.7	21.6
2 公共施設にあり、自由に操作できる端末機	14.0	8.3	15.8	23.1	10.8
3 インターネット・パソコン通信など	8.0	0	10.5	15.4	5.4
4 区役所窓口で入手できるパンフレットなど	48.0	50.0	47.4	61.5	43.2
5 ブロックセンター発行の地域密着型広報誌	18.0	8.3	21.1	7.7	18.0
6 教育委員会が作成した学習情報誌	8.0	0	10.5	7.7	8.1
7 現状の「あだち広報」や公社報「ときめき」など	72.0	91.7	65.8	69.2	73.0
問5 今後の足立区の生涯学習の方向性としてどんなものが良いと思うか。(複数回答) N=50					
1 区民が主体で行政は支援という立場を守る	38.0	33.3	39.5	30.8	40.5
2 まだ行政が積極的に区民の学習活動をリード	48.0	50.0	47.4	53.8	45.9
3 行政は趣味的講座より社会的課題中心の講座を行う	20.0	8.3	23.7	23.1	18.9

生涯学習	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	50	12	38	13	37
4 高齢者や障害者たちが学習できる仕組みを作る	40.0	25.0	44.7	46.2	37.8
5 生涯学習に行政が直接関わる割合は減らしていく	30.0	33.3	28.9	30.8	29.7
問6 区民の学習支援のために、施設使用料などを免除したり、講座受講料を無料もしくは低く設定したりしているが、費用負担はどうあるべきと考えるか。 N=50					
1 区民の学習支援のためにも、現在の制度を継続	54.0	33.3	60.5	53.8	54.1
2 個人の趣味・教養・娯楽に関するものは有料	36.0	58.3	28.9	23.1	40.5
3 すべての活動について有料	2.0	0	2.6	15.4	2.7
4 無料の制度をもっと広げる	6.0	8.3	5.3	0	2.7
5 わからない	2.0	0	2.6	7.7	0
問7 足立区生涯学習館に、放送大学東京第3学習センターが併設されていることを知っているか。 N=50					
1 あることも、その内容も知っている	34.0	33.3	34.2	7.7	43.2
2 ある事は知っているが、内容までは知らない	38.0	50.0	34.2	46.2	35.1
3 知らない	28.0	16.7	31.6	46.2	21.6
問8 放送大学で学習してみたいと思うか。 N=50					
1 ぜひ学習してみたい	20.0	25.0	18.4	15.4	21.6
2 時間的に余裕があればしてみたい	64.0	33.3	73.7	61.5	64.9
3 学習する気はない	16.0	41.7	7.9	23.1	13.5